

令和元年度 課題解決型ワークショップ

演劇×認知症介護

演じて見る！？認知症介護のスキルアップ講座

認知症介護において想定される課題

- ・ 認知症の方とのコミュニケーション不足
- ・ 介護疲れによるストレス
- ・ 日々の生活に心のゆとりがなくなる
- ・ 介護による孤独

ワークショップ概要

認知症になると、物忘れや勘違いが増え、時には失敗をしてしまいます。言動を正すのではなく、受け入れることで、介護する人も、される人も今この瞬間を楽しむことができるようになります。認知症患者の気持ちを体験しながら、楽しく学べるワークショップです。

講師

菅原 直樹 氏（「老いと演劇」OiBokkeShi主催）

対象者

講座参加者 計67人

<内訳> 認知症の方を介護しているご家族の方 : 6名
認知症の方を介護している施設職員の方 : 27名
認知症の方を介護していない方（非介護者） : 34名

実施日

2019年9月9日～10日（3回実施、2時間／回）

ワークショップ内容①



「将軍ゲーム」

身体の部位に番号を振り、リーダーの号令に従って、参加者が体の部位を指すゲーム。

ワークショップ内容②



「イエス・アンドゲーム」

介護者役と認知症の人役に分かれて行う即興演劇。認知症の人役の突拍子もない願望を介護者役が「肯定する」パターンと、「否定・無視する」パターンの2種類を演じる。

ワークショップ内容③



「ボックス」

1人が認知症の人の役を演じ、演者は手渡された本にあるセリフしか口にできないというルールが課される。他のメンバーは、その演者と「否定・無視」と「肯定」の2つのパターンで関わる。

ワークショップ参加者の声

【施設職員の声】

- ・利用者さんが違うことを言っているけど、それを否定してしまったら、お互い嫌な気持ちになると分かったので、今後はいい人間関係を築いていけそう。
- ・これまでも頭では相手を否定することがダメだと分かっていたが、改めてそれを再認識できた。

【一般参加者の声】

- ・悪いところばかりに目が行きがちだが、物事を忘れても「今を楽しむ」ということを大事にするべきだということに気づけた。
- ・認知症に関わらず、子どもや周りの人との接し方にも通じるものである。誰に対しても相手の言動を受け入れることを意識したい。

ワークショップの成果①

(介護中の家族のワークショップ受講前と受講後の比較)

認知症の方と上手くコミュニケーションが取れるようになった。 + 37%

認知症の方と一緒に過ごしていても気が休まるようになった。 + 37%

毎日の生活の中で心にゆとりがあると感じるようになった。 + 50%

介護があっても、孤独だと感じなくなった。 + 12%

ワークショップの成果②

(施設職員のワークショップ受講前と受講後の比較)

認知症の方を尊重できている。

+ 30%

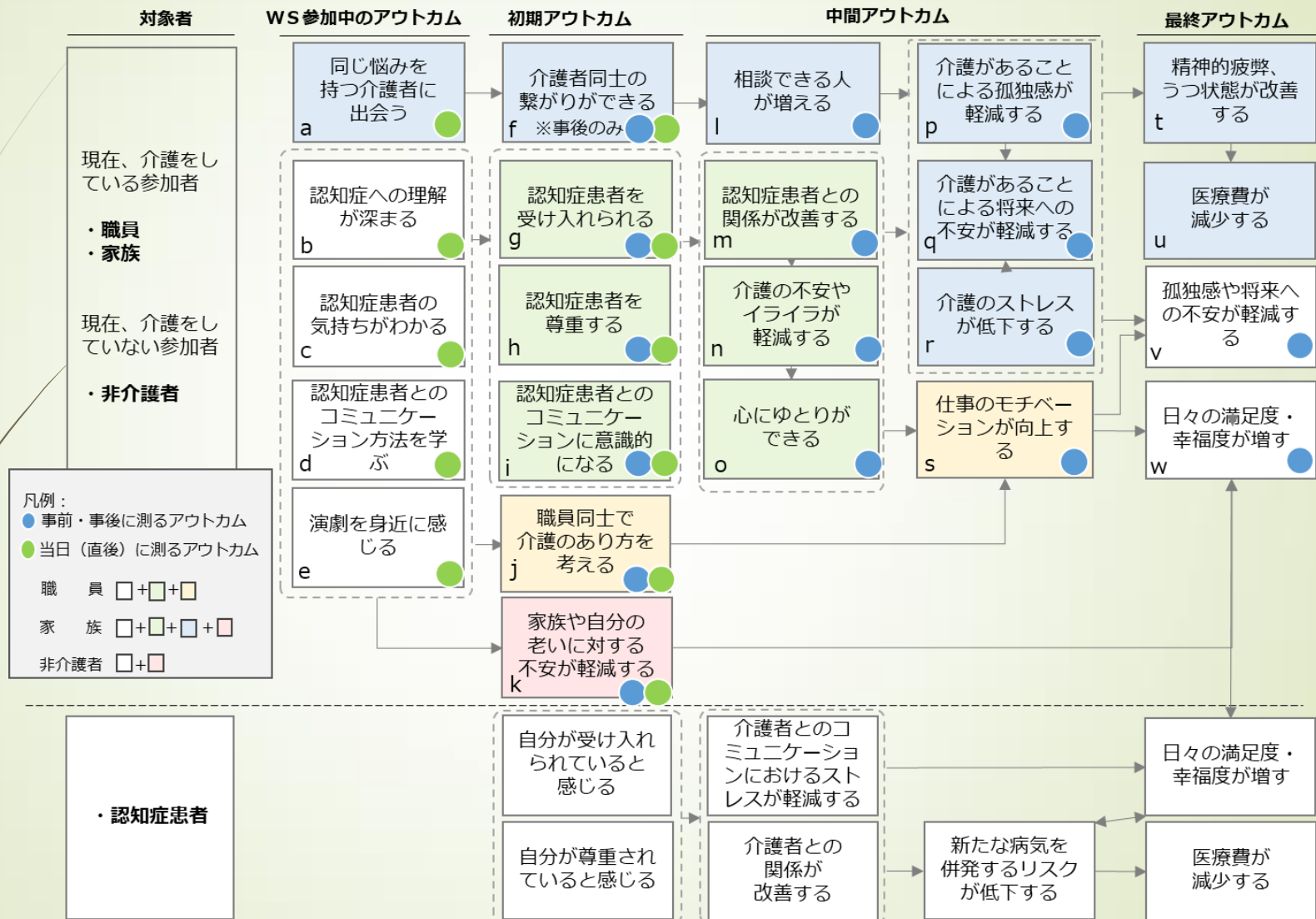
認知症の方とのコミュニケーションにおいて、
喜びを感じることがある。

+ 25%

他の職員と、認知症の方の介護のあり方につ
いて話すことがある。

+ 21%

菅原直樹氏の認知症ケアWS ロジックモデル



測定結果の事前事後比較①

	1. 講座参加者の現在の状況	平均の差	事前	事後
(1)	身近に介護について相談できる人は何人くらいいますか。	+1.9人	4.1人	6.0人

WS前後の「思う・とても思う」合計割合の差

	1. 講座参加者の現在の状況	対応アウトカム	ご家族
(2)	ワークショップで出会った人たちとの繋がりは続いていますか。	f	—
(3)	介護があることで、孤独だと感じることもある。	p	-12.5%
(4)	介護を一生懸命やっていることが、認知症の方や家族にわかってもらえないと思うことがある。		-25%
(5)	家族に認知症患者がいることを知られたくない。	q	0%
(6)	介護があることで、将来に不安を感じることもある。		-37.5%
(7)	介護があることで周りの人ときつあひづらくなっている。	r	0%
(8)	認知症の方と一緒に過ごしていると、気が休まらない。		-37.5%
(9)	介護があることで自分の社会参加の機会が減った。		-14.3%
(10)	認知症の方が家にいるので、友達を自宅に呼びたくても呼べない。		-12.5%
(11)	介護を誰かにまかせてしまいたいと思うことがある。		+50%

	2. 参加者の現在の状況	対応アウトカム	全体	ご家族	施設職員
(1)	認知症の方の発言を受け入れられている。	G	+9.8%	+32.1%	+2.7%
(2)	認知症の方を尊重できている。	h	+32.7%	+41.7%	+29.7%
(3)	認知症の方と上手くコミュニケーションがとれている。	i	-0.3%	+37.5%	-13.7%
(4)	認知症の方との関係性は良い。	m	+3.6%	+37.5%	-6.8%
(5)	認知症の方とのコミュニケーションにおいて、喜びを感じることもある。		+27.2%	+21.4%	+24.6%
(6)	認知症の方から非難されたり、拒否されたりすることがつらいと感じることがある。	n	+4.3%	+12.5%	+1.8%
(7)	認知症の方が言うことややることがわからなくてイライラすることがある。		+0.2%	0%	+2.7%
(8)	認知症の方が、こちらの言うことをわからなくて困ることがある。		-7.9%	-25%	-3.4%
(9)	認知症の方のすることに予想がつかなくて、怖い、不安だと感じることもある。		0.2%	-25%	+3.4%
(10)	毎日の生活の中で心にゆとりがあると感じる。	o	+2.6%	+50%	-10.2%

<凡例>

肯定的な回答が10%以上増加または
否定的な回答が10%以上減少

否定的な回答が10%以上増加または
肯定的な回答が10%以上減少

測定結果の事前事後比較②

WS前後の「思う・とても思う」合計割合の差

3. 参加者の現在の状況		対応アウトカム	全体	ご家族	非介護者
(1)	家族や自分が、老いていくことに不安を感じる。	k	+1.6%	+12.5%	-0.2%


4. 参加者の現在の状況		対応アウトカム	施設職員		
(1)	他の職員と、認知症の方の介護のあり方について話すことがある。	j	+20.8%		
(2)	認知症の方の介護の仕事にやりがいを感じている。	s	+5.8%		
(3)	認知症の方の介護の仕事にストレスを感じている。		+11.0%		


5. 参加者の現在の状況		対応アウトカム	全体	ご家族	施設職員	非介護者
(1)	毎日の生活の中で孤独だと感じることもある。	v	-10.2%	-25%	+2.7%	-18.3%
(2)	毎日の生活の中で将来に不安を感じることもある。		-17.6%	-12.5%	-16.7%	-17.9%

「10段階評価で7以上の良い生活をしている」割合合計の差

5. スキルアップ講座参加者の現在の状況		対応アウトカム	全体	ご家族	施設職員	非介護者
(3)	あなたにとって可能な限りで最良の生活を10、最悪の生活を0としたとき、あなたは今、どの位置にいますか。	w	+1.5%	+25%	+6.7%	-4.0%

<凡例>

 肯定的な回答が10%以上増加または否定的な回答が10%以上減少

 否定的な回答が10%以上増加または肯定的な回答が10%以上減少